

科目名称	精神看護学方法論Ⅱ（看護過程の演習）	学年学期	単位数	時間数
		2 学年後期	1	15
担当教員	村上 裕紀	授業に関わる 実務経験	☒ 有（ 看護師 ） ☐ 無	

【1】 授業概要

オレム-アンダーウッズのセルフケア理論を用いて、精神疾患・精神症状をもつ患者とその家族に対して、情報収集・アセスメント・看護計画・実施・評価の方法を理解し問題解決技法について学ぶ。

【2】 学習目標

1. オレム-アンダーウッズのセルフケア理論を説明できる。
2. さまざまな精神疾患・精神症状のある患者とその家族に対して、セルフケア理論の考え方にに基づき看護過程の展開ができる。

【3】 第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

学習目標を達成することにより、次の能力を身につけるにつながります。

- ☒ 1. 生活者としての人間の理解
- ☒ 2. 人間を尊重した判断・行動
- ☒ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- ☐ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- ☐ 5. 多職種連携・協働
- ☐ 6. 地域医療の理解と支援
- ☒ 7. 主体的な学習

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	ゴードンの情報分析とセルフケア理論	講義
2	紙上事例による看護過程の展開（個人ワーク）	演習
3		
4		
5	紙上事例による看護過程の展開（グループワーク）	演習
6		
7	発表	演習
8	試験・まとめ	

【5】 評価方法

科目評価は、筆記試験(80%)、演習で作成したケースレポート(20%)で総合的に評価する。

【6】 教科書

系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学②, 医学書院, 2019

【7】 参考書

宇佐美しおり他:オレムのセルフケアモデル事例を用いた看護過程の展開・ヌーヴェルヒロカワ・2013

小田正枝:事例でわかる看護理論を看護過程に生かす本・第1版第5刷・照林社・2013

【8】 受講生へのメッセージ